

立川そうぞう会議 2035

ニュースレター vol.6

第6回 立川そうぞう会議 2035 を開催しました！

立川市では現在、令和7(2025)年度から10年間の市政運営の指針となる、新たな長期総合計画の策定に取り組んでいます。この計画の策定に向けて、市が目指すべき姿や課題、必要な取組の方向性等について話し合うため、全6回にわたり市民ワークショップを開催しました。

最終回となる第6回は、ワークショップ報告会として、一般の方にもご参加いただき、パネルセッションを行いました。



第6回 立川そうぞう会議 2035 開催概要

日時 : 令和5年 11月 23日(木・祝)
13:30~16:00

場所 : たましん RISURU ホール 展示室
参加人数: 64名(うち一般観覧者 29名)

テーマ「発表しよう ~パネルセッション~」

- はじまり
- パネルセッションの準備をしよう
- パネルセッション
- まとめ

【全6回プログラム】

- 済 第1回 6/18 立川を知ろう
- 済 第2回 7/22 立川を語ろう
- 済 第3回 8/26 都市像を考えよう
- 済 第4回 9/30 都市像・将来像を決めよう
- 済 第5回 10/23 都市像・将来像を描こう
- ★ 第6回 11/23 発表しよう

第6回の報告会は
一般の方にもご参加
いただきました



第6回 発表しよう ～パネルセッション～

はじめ

今回は、ワークショップ最終回です。たましん RISURU ホールにて、ワークショップ報告会を開催しました。

今まで班ごとに検討してきた将来像と都市像を中心に、「立川市が10年後にめざすまちの姿」をまとめたパネルを使って、パネルセッションを行いました。



朝日先生より、パネルセッションにあたりお話がありました。

- この発表の場が、そうぞう・共創の本番です。ここから何が生まれるか、どんな反応が起こるか、楽しみです。
- 完成形のパネルに至るまでのプロセス(パネルに見えていない部分)もぜひ説明してください。
- 人に分かるように説明すると、自分の中の様々な想いははっきりしてくるはずです。対話によって生まれるものもあります。セッションを楽しんでください！

パネルセッションの準備をしよう

前回ワークショップで作成したパネルを班のメンバーで見直して、最後の仕上げとして手を加えたり、内容の確認などを行いました。

班ワーク

☆パネルセッションとは？

話し合いの成果をまとめたパネルを囲みながら、説明を聞いたり、質疑応答をする発表方法です。

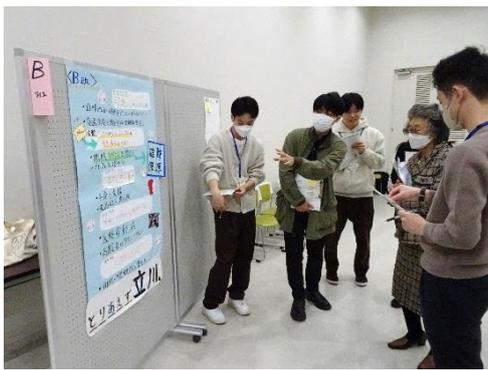
☆みんなで楽しむパネルセッションの流れ

- ① 各班、前半に説明する人と後半に説明する人に分かります。
- ② 前半セッション
前半の説明役の人は、自分たちの班のパネルの前に立ち、説明や質問に対する回答を行います。後半の説明役の人は、他の班のパネルを自由に見に行きます。パネルの内容について質問や意見交換をしながら、いいなと思った内容を「感想ふせん」に書いたり、「いいね！シール」を貼ったりします。
- ③ 後半セッション
自分の班に戻り、説明役をバトンタッチします。
- ④ セッション終了後に、班ごとに質問や意見を振り返ります。



パネルセッション

班のメンバーは説明役と見学者に分かれ、前半・後半35分ずつセッションを行いました。一般観覧者や長期総合計画審議会のメンバー、酒井市長も参加し、パネルセッションの熱気が高まりました。



～パネルセッションで書いていただいた感想ふせんより（一部抜粋）～

- ・「あの立川！」と良い意味で言って頂ける事をたくさん発信していくことが大切！
- ・地域イベントの開催によって財源をみつめるという発想が新しくて良いと思いました。
- ・若い世代の“ワクワク”をいかに街にちりばめるか大切！！
- ・情報が「届く」というのが良い。取りに行くことも届くも選べる。
情報だけでなくそこからつながれるのが良いですね。
- ・子育て世代を取り込むためには、子供の遊べる環境整備が不可欠と思います。
- ・空き家を子供たちのための場所にする事、いいなと思いました。
- ・なんてことのない道にベンチがあるのは魅力的。
- ・若者とシニアという観点がとてもよい。互いの理解を得るのが、核家族化しており、なかなか難しいので、イベントなどでつながりができるといいなと思った。
- ・資源や財政、地域の人々とのつながりを取り上げて、これからの立川について考えていてよかった。
自治会などで高齢の方と若者のつながりを大切にしたい。

まとめ

東京都立大学 都市環境学部都市政策科学科 朝日ちさと 教授

本日、更にパネルがブラッシュアップされて、アイデアがたくさんあることに驚きました。

ワークショップに参加して得たことは、家族や友達、活動している仲間と共有することが大切です。この経験を様々なところで活かして広げていって欲しいと思います。



立川市 酒井大史 市長

立川市の将来について議論していただいたこと、感謝いたします。子育て、生きがい、財源、ラーメン、様々なテーマがパネルに書かれていました。立川市にとって、市民のみなさんが知恵袋であり、宝です。10年後、あの時ワークショップをやったからこそ、10年前より良くなったと感じていただけるような市政運営をみなさんと一緒に行っていきたいと思います。



参加者のみなさんからいただいた意見は、市ホームページ等で公開する予定です。市では積極的な情報発信に努めてまいります。今後も、長期総合計画に関する情報を提供していきますので、ぜひご利用ください。

■立川市 長期総合計画関連の情報(市ホームページ)

<https://www.city.tachikawa.lg.jp/shise/sesaku/kekaku/index.html>

上記 URL のほか、QR コードからも閲覧できます→



発行:立川市総合政策部 企画政策課

住所:〒190-8666 東京都立川市泉町 1156-9

電話番号:042-523-2111 FAX:042-521-2653